

上戸田川整備事業

— 新曽第二土地区画整理事業地区編 —



戸田市 水安全部 河川課

上戸田川整備事業の概要

●基本理念

上戸田川整備事業については、上戸田川基本計画(平成15年3月)の基本理念を踏襲します。この基本理念は、上戸田川基本計画策定の際、広く住民の方々の意見を計画の中に取り入れるため、上戸田川懇談会を平成13年5月から平成16年2月までに計10回開催し、この懇談会の中で出た意見を基に策定されています。

基本理念

- 地域の憩いの場となる川
- きれいで多くの生物が生息する川
- 安全で水に近づける川

●計画諸元

上戸田川については、各流域市における下水道計画等との整合を図り、以下のような計画が策定されています。

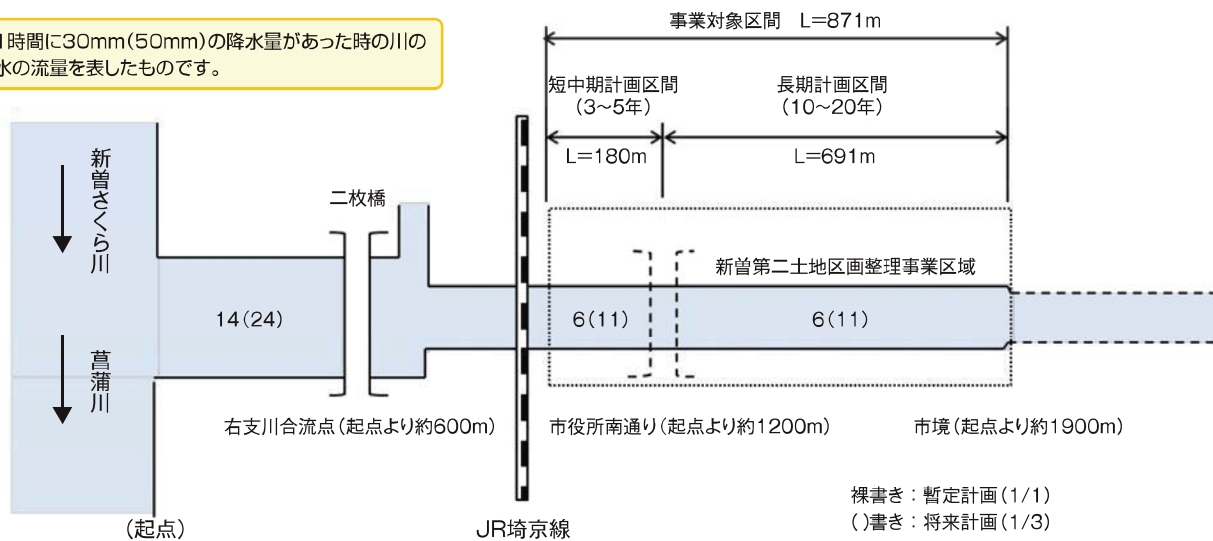
項目	計画	
計画河道延長	1,873m	(1/3年：50mm/hr)
流域面積(菖蒲川合流地点)	2.97km ²	(戸田市 1.75km ² 、蕨市 1.22km ²)
計画降雨確率 暫定計画(将来計画)	1/1年：30mm/hr	(1/3年：50mm/hr)
計画高水流量 暫定計画(将来計画)	14m ³ /s	(24m ³ /s)
縦断勾配	1/1500	

●流量配分

雨水を安全に流下させるため、流量配分を設定し、計画を進めていきます。

〈上戸田川計画流量配分図〉

1時間に30mm(50mm)の降水量があった時の川の水の流量を表したものです。



●整備状況

総延長1,873mのうち下流より1,002mは、平成20年度までに暫定計画(30mm/hr)での整備が終了しています。

区間	区間距離	備考
菖蒲川合流点～二枚橋(下流側)	585m	整備済 (S57～S61 準用河川国庫補助事業)
二枚橋(下流側)～JR線環境空間	417m	整備済 (H16～H20 まちづくり交付金事業)
JR線環境空間～蕨市境	871m	事業対象 (H27～ 社会資本整備総合交付金事業)
計	1,873m	

現況特性

上戸田川は戸田市の中心の南北に位置し、途中でJR埼京線の直下を流下する都市河川です。現在、JR埼京線付近の下流側まで暫定計画による整備が終了しています。

また、JR埼京線より上流側は新曽第二土地区画整理事業が進められており、雨水排水の受け入れ先となる上戸田川については、その進捗に合わせた河川整備が必要であることから、引き続き整備を進めてまいります。



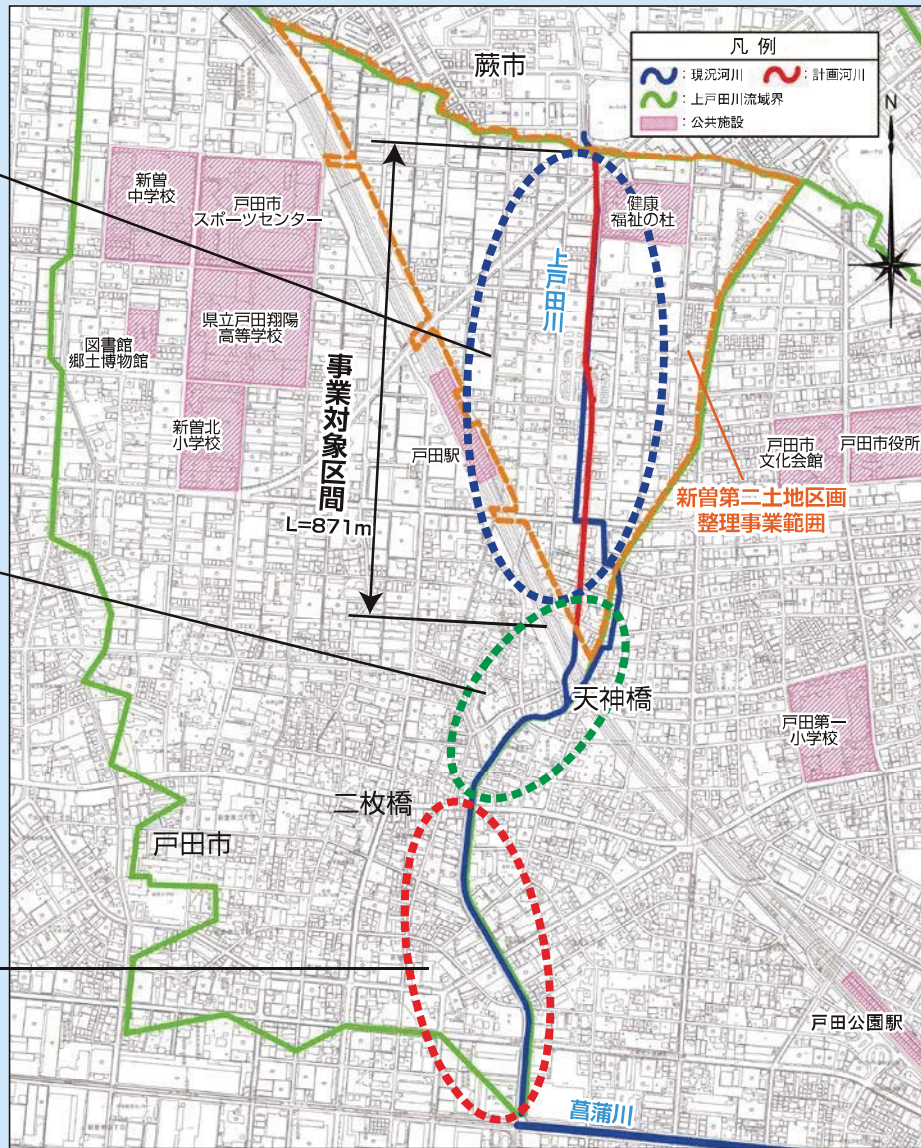
上流部(JR～市境):蓋架け河川区間



中流部(二枚橋～JR):暫定改修済み区間



下流部(合流点～二枚橋):暫定改修済み区間



新曽第二土地区画整理事業

新曽第二土地区画整理事業では、戸田駅前を中心とした安全で活気のある市街地と閑静な住宅地を創出し、良好な市街地の環境形成を図ります。計画されている公園や緑地、緑道などのオープンスペースと上戸田川を一体的に整備することにより、景観や自然環境にも配慮し、親しみやすい水辺環境を創出します。

事業の概要

名称	戸田市計画事業新曽第二土地区画整理事業
施行者	戸田市
施行面積	40.5ha
施行期間	平成15年～平成29年
計画人口	4,900人

まちづくりとの調和

都市と自然が融合していくために、点在でなく連続した水や緑の環境を創出し、自然環境と調和した市街地を形成する。
 (第2次戸田市都市マスタープラン)(H25.3月)

快適な水空間の創出と水と緑のネットワークを形成する。水辺の景観演出と憩いの場の創出。
 (戸田市 緑の基本計画)(H24.3月)

戸田市第4次総合振興計画 (H23.3月)
 (平成23年度～平成32年度)

■近年の浸水被害

最近の降雨は短時間に集中的に降る傾向があるため、計画的な河川整備を実施し、浸水被害の低減を図り、治水安全度を向上させていく必要があります。

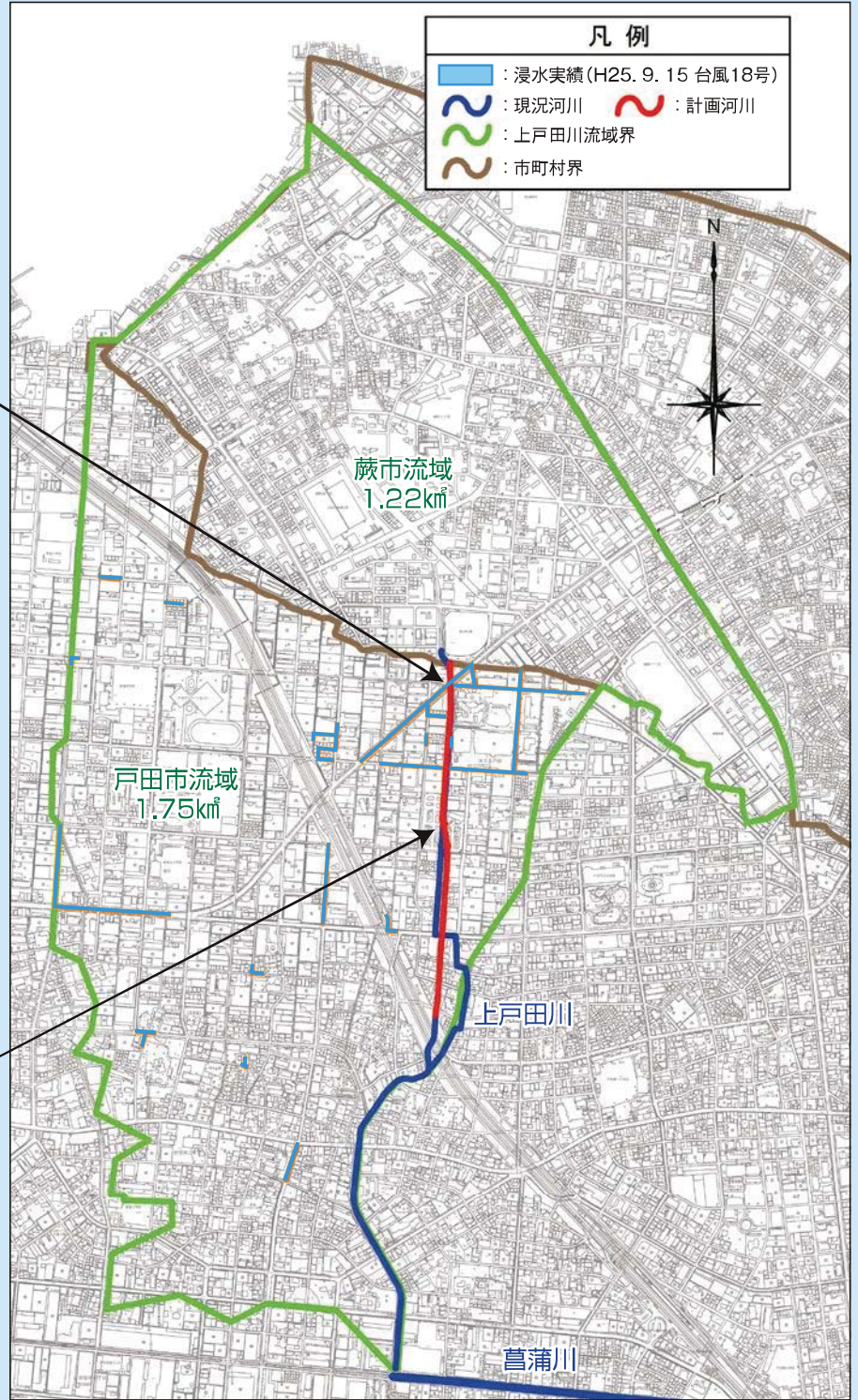
浸水実績

平成26年6月25日短期集中豪雨



浸水実績

平成25年9月15日台風18号

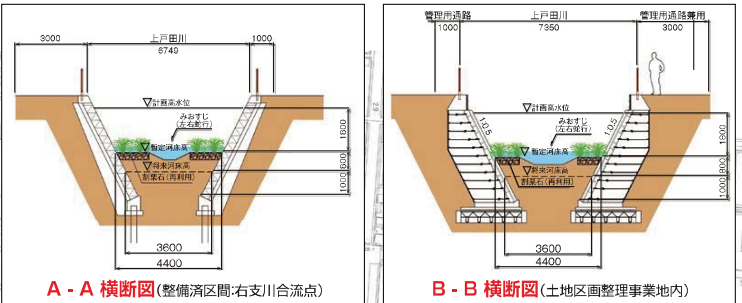


戸田市における主な浸水被害履歴(過去10年)

平成16年10月 9日	台風22号
平成16年10月20日	台風23号
平成17年 9月 4日	短期集中豪雨
平成18年 5月24日	短期集中豪雨
平成21年10月 8日	台風18号
平成22年12月 3日	短期集中豪雨
平成23年 8月26日	短期集中豪雨
平成25年 9月15日～16日	台風18号
平成25年10月16日	台風26号
平成26年 6月25日	短期集中豪雨



上戸田川整備事業(案)



●ポケットパーク
 導入施設: あずまや・ベンチ・植栽

●ポケットパーク
 導入施設: ベンチ・植栽

●上戸田川浄化施設

●拠点整備計画

川沿いにある用地や区画整理事業で計画される公園・緑地・緑道など一体となった川づくりを行います。
 特に「1号公園」は駅前通りと上戸田川が交差する地点であることから上戸田川の主要拠点と位置づけ、誰でも水辺へ近づける緩傾斜の親水階段を整備します。また、緑地などの地下に調整池を整備し、上戸田川へ流れ出る水量を抑えます。

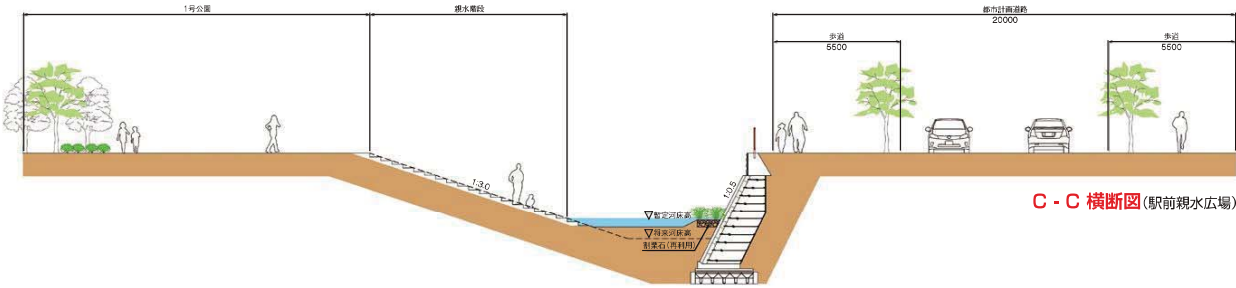
土地区画整備事業範囲
 新曽第二土地区画整理と共に整備を行う。

●遊歩道整備
 導入施設: ベンチ・遊歩道

●拠点整備「駅前親水広場」
 導入施設: 階段・ベンチ・遊歩道

凡例

都市計画道路
区画道路
特殊街路
公園・緑地
河川・水路
ネットワーク



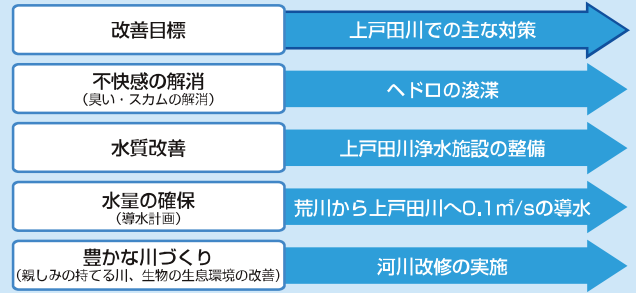
●川沿いの道計画(ネットワーク計画)

上戸田川の両側にある川沿いの道を連続させることで、水辺の散策路として利用できるように整備します。

水環境の改善

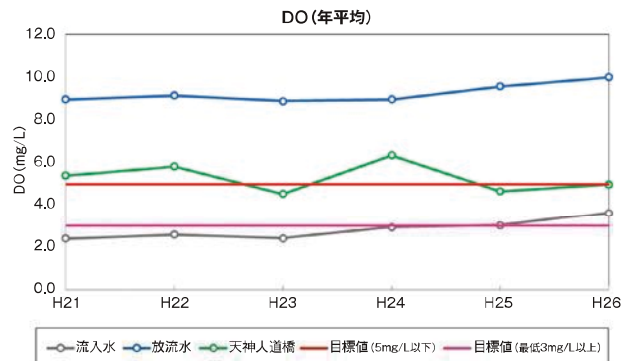
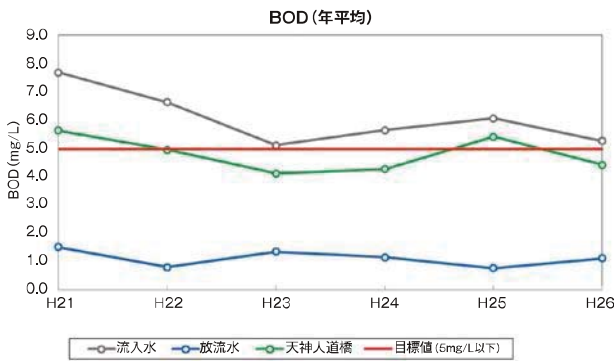
●清流ルネッサンスⅡ

上戸田川流域では下水道未整備地域が残っており、生活雑排水を主体とした水が流下し、水質汚濁の原因となっています。
荒川水系菖蒲川の支川である上戸田川は、河川の水循環系の健全化を図るために策定された「第二期水環境改善緊急行動計画(清流ルネッサンスⅡ)H15.3」の対象河川に、菖蒲川・笹目川と共に指定され、10年後の平成22年度を目標年度として、水環境の改善活動を右図のとおり実施してきました。



●取り組み状況

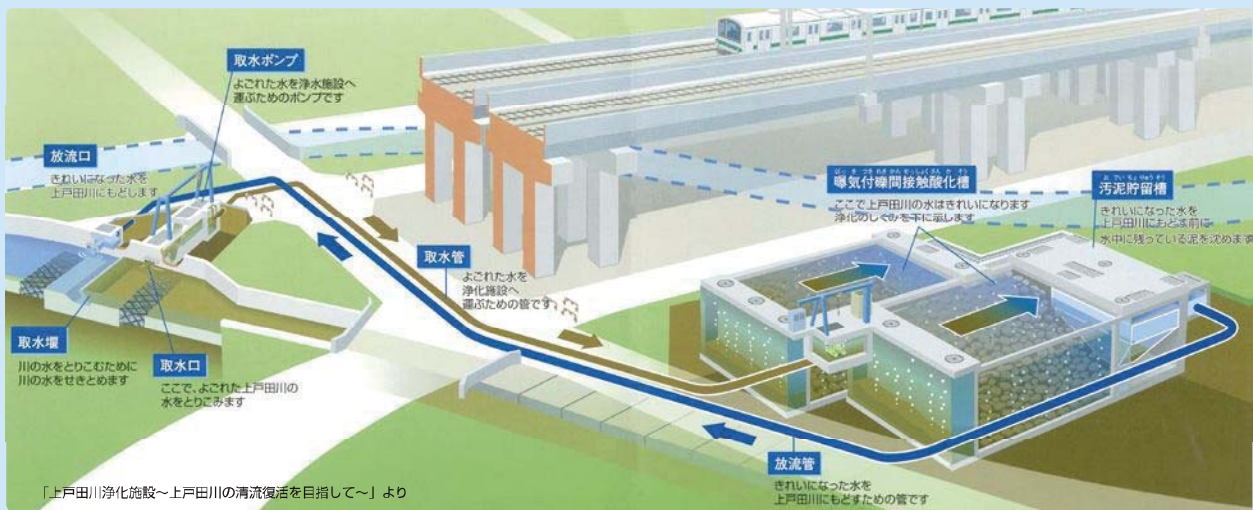
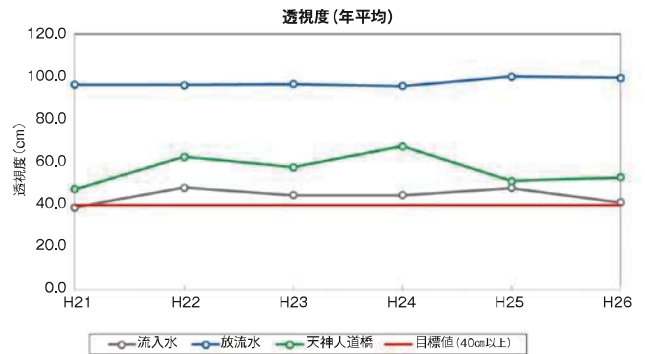
平成18年、天神橋付近に上戸田川浄化施設が設置され、汚れた河川水を取水し、曝気付礫間接触酸化法^(※1)により、水質浄化を行っており、かつて生物がほとんど棲めない状態だった上戸田川の水質は改善されてきています。また、荒川より毎秒0.1m³の水が上戸田川に導水されることによって、水質の改善および水量の回復が図られています。



目標水質

BOD ^(※2)	5mg/L以下(日平均 [※])
DO ^(※3)	5mg/L以上(日平均 [※]) 3mg/L以上(最低)
透視度	40cm以上(川底が見える)

※日平均：上戸田川は潮の満ち引きの影響によって1日中水質が変わります。そのため、1日の水質を平均した値で評価する必要があります。



※1 曝気付礫間接触酸化法：石をつめた水槽に、水を流しながら空気を送り込み(曝気)、微生物を活性化させて汚れを分解する方法です。この方法は、もともと川がもっている自然の浄化作用を応用したものです。
 ※2 BOD(生物化学的酸素要求量)：川の水のきれいさを示す数値で、値が小さいほどきれいな水です。
 ※3 DO(溶存酸素)：水に溶けている酸素の量で、水中の生物が生きていくため、また川の自浄作用(自らきれいになろうとする力)にも必要不可欠です。

市民アンケート調査

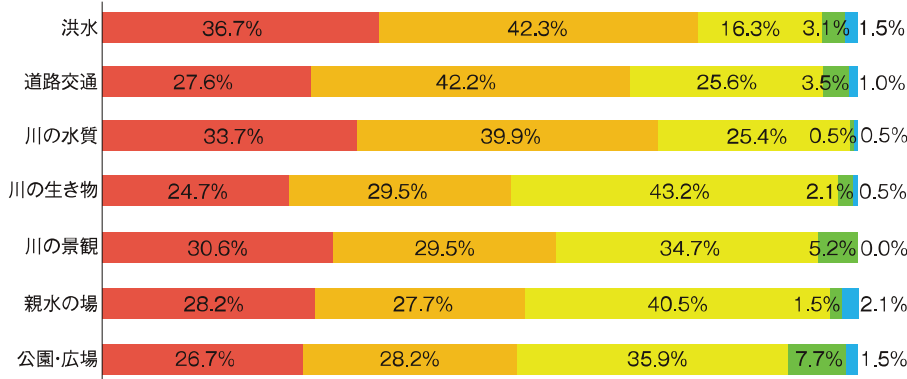
上戸田川周辺にお住まいの方を対象に上戸田川の現状や考えを聞き、整備を推進するための基礎資料を得るため、アンケート調査を実施しました。

アンケート実施時期

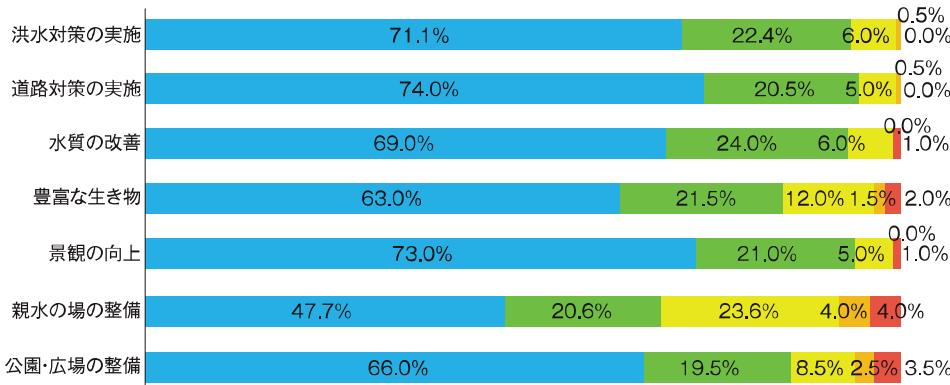
配布：平成26年4月30日～
記入期間：～平成26年5月15日

	配布数	回収数
方法	戸別配布	郵送
部数	1,000部	202部

現在のの上戸田川について感じる事



今後の上戸田川について期待すること



まとめ

周辺住民にアンケートを行った結果、現在のの上戸田川について洪水時の安全性や川の水質に対する不安を感じていることが分かりました。

また、今後の上戸田川整備については、洪水対策や道路の利便性向上、環境・水質、憩いの場としての整備等のすべての項目に対して高い期待感があることが分かりました。



発行 戸田市役所 水安全部 河川課
〒335-8588 埼玉県戸田市上戸田1丁目18番1号
TEL：048(441)1800(代)